

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年8月24日発行

— 2017.8.14～2017.8.20—第33週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第29週	第30週	第31週	第32週
水痘	1 0.20	1 0.10		1 0.50	1 0.33	2 0.40	1 0.50	1 0.04	8 0.14	777				
流行性耳下腺炎	2 0.40	6 0.60			1 0.33			1 0.04	10 0.17	433				
百日咳								0 0.00	0 0.00	0				
感染性胃腸炎	19 3.80	18 1.80	14 2.80	10 5.00	7 2.33	11 2.20		52 1.93	131 2.22	9,924	◎	◎	◎	◎
手足口病	89 17.8	58 5.8	35 7.00	17 8.50	25 8.33	67 13.40	10 5.00	194 7.19	495 8.39	2,727	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	6 1.2							3 0.11	9 0.15	130				
突発性発しん	2 0.40	4 0.40	3 0.60	1 0.50	3 1.00	3 0.60	2 1.00	6 0.22	24 0.41	1,114	レ	○	レ	
ヘルパンギーナ	7 1.4	9 0.9	7 1.40	2 1.00	19 6.33	8 1.60	3 1.50	20 0.74	75 1.27	463	○	◎	○	○
インフルエンザ			2 0.25			2 0.25		14 0.32	18 0.19	27,071				
咽頭結膜熱	2 0.40	5 0.50	1 0.20		2 0.67			9 0.33	19 0.32	1,333	◎	○	レ	
流行性角結膜炎								3 0.50	3 0.25	92				
急性出血性結膜炎								0 0.00	0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.40	6 0.60	4 0.80			15 3.00		10 0.37	37 0.63	5,297	◎	◎	レ	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								0 0.00	0 0.00	0				
無菌性髄膜炎								0 0.00	0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00			4 0.80	6 0.50	160				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0 0.00	0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.60	10 1.00	6 1.20	1 0.50	2 0.67	11 2.20		68 2.52	101 1.71	1,034	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								0 0.00	0 0.00	50				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	6	1	1	1	2	1	3					
	川崎病								4					
	不明発しん症								5					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙南管内 男性1名

大崎管内 女性1名

石巻管内 男児1名*

腸管出血性大腸菌感染症(O103)

大崎管内 男児1名*

腸管出血性大腸菌感染症(O91)

栗原管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O111)

登米管内 女性1名、男児1名*、女児1名*(第32週)

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 男性1名

仙台管内 男性2名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名

梅毒

仙台管内 女性1名

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

塩釜管内で警報値を超えた

仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内のO111関連

第33週採取分 O111 1件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内

第30週採取分

アデノウイルス41型 1件

手足口病患者より

大崎管内

第31週採取分

コクサッキーウイルスA6 3件

第32週採取分

コクサッキーウイルスA6 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

確定中 間 報 告

第30週採取分 第31週採取分 第32週採取分

(7.24～7.30) (7.31～8.6) (8.7～8.13)

RSウイルス	6件	5件	3件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	1件	1件	1件
ライノウイルス	2件	3件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	6件	5件	2件
パラインフルエンザウイルス(4型)	0件	1件	0件

* パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。

** 第28週からRSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などが代表的ですが、その他にも多くの血清型があり、県内でも様々な型が報告されています。県内では今週8例の患者報告がありました。主な症状は腹痛、下痢ですが、重症化すると溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし死亡する例もあります。加熱不足の食肉の他、洗浄が不十分な野菜等の摂取を原因とすることもあります。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

【手足口病】

今週は、県内すべての保健所管内で警報値を超えました。流行が続いているので今後も注意が必要です。引き続き、手洗いなどの感染予防に努めてください。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

